



良寛の里

良寛堂

そのぬくもりに逢いに行く

照明寺
密蔵院

良寛たずね道

八十八ヶ所巡り

三輪家別荘
楽山苑

五合庵

隆泉寺



新潟県

ここ「良寛の里」は
心温かな良寛さんの足跡が
数多く残る地域です

その足跡をたどる

「良寛たずね道」で

「良寛八十八ヶ所巡り」を

楽しんでください。

良寛さんの面影に触れると、

きつと、あなたの心も和むことでしょう。

「良寛の里」は、生まれ育った「出雲崎」、

越後に帰り仮住まいした「寺泊」、

定住期間の長かった「分水」、

父が生まれ弟と親交を深めた「与板」、

そして貞心尼との出逢いと遷化の地「和島」…

この五つの地域からなります。

良寛さんの面影が残るこの地を

たずね歩けば、今もなお私たちに優しさを

届けてくれるそのぬくもりを

きつと感じることができるよう。



良寛の生涯 (年齢は数え年)

1758(宝暦八年) 1歳

出雲崎の名主・橋屋の長男(栄蔵)として生まれる。父以南。母秀子(以南と結婚する前の名はおのぶ)

1770(明和七年) 13歳

この頃、大森子陽の塾三峰館で学ぶ。

1775(安永四年) 18歳

家を出て修行を始める。

1779(安永八年) 22歳

国仙和尚に随い備中円通寺に赴く。良寛の名をもらう。

1783(天明三年) 26歳

母秀子が亡くなる。

1791(寛政三年) 34歳

師の国仙和尚が亡くなる。その後、故郷を目指す。帰国後は、郷本空庵などに転々と暮らす。

1795(寛政七年) 38歳

父以南が京都桂川に身を投げ死す。

1797(寛政九年) 40歳

この頃五合庵に定住する。45~46歳の頃、密蔵院、西生寺などに一時住む。

1810(文化七年) 53歳

弟由之に家財取り上げ所払いの判決が下る。

1816(文化十三年) 59歳

五合庵を出て乙子神社草庵に移る。

1826(文政九年) 69歳

島崎の木村元右衛門の邸内庵室に移る。

1827(文政十年) 70歳

貞心尼が良寛さんを訪ねる。

1831(天保二年) 74歳

貞心尼、弟由之らに看取られ示寂。隆泉寺木村家墓地に葬られる。

※本ガイドに掲載されているデータは平成29年2月現在のものです。その後、内容が変更される場合がありますので、ご利用の際は事前にご確認されることをおすすめします。

生誕の地

出雲崎は、江戸幕府の直轄地「天領」として栄え、北前船も寄港して賑やかに人と物とが行き交った北国街道の宿場町。そこに、生まれ育った良寛の原点がある。



一七五八年、出雲崎町の名主橋屋の長男として生まれた良寛(栄蔵)は、十八歳で家を出て修行を始めた。二十二歳のとき、国仙和尚に随って岡山県の円通寺に赴き、仏道修行に励む。三十四歳の時に師の国仙和尚が示寂すると、その後故郷を目指した。故郷に戻った後は、寺を構えることなく、空いた庵等で仮住まいし、托鉢行による清貧の生涯を通じた。

生家・橋屋跡には日本海を望む良寛堂が立ち、生家の菩提寺、剃髪の寺などゆかりの地をはじめ、遺墨や関連の品を展示する良寛記念館や詩歌碑など、良寛の生い立ちと人となりに触れられる史跡が出雲崎には多数ある。

8 良寛堂

大正11年に、良寛の生家橋屋の跡地に建てられた。日本画壇の巨匠安田靉彦が浮御堂をイメージして設計。堂の中に良寛の歌碑が、境内に以南句碑がある。

9 良寛堂から眺める佐渡

良寛堂の裏に母の生まれた佐渡を望む良寛像がある。



14 北国街道妻入りの街並

家の「妻」方向に玄関のある建物が延々約4kmにわたって続く、全国的にも珍しい街並み。

15 北国街道妻入り会館

新築した妻入りの建物。気軽に立ち寄れる休憩所。

時 (4月~9月)9:00~18:00、(10月~3月)9:00~17:00
休 年末年始 料 無料 駐 あり 電 0258-78-3700

6 良寛記念館

良寛の遺墨と画壇の巨匠による絵画等を通して、温かい心の良寛に触れ合える。近代建築の巨匠谷口吉郎博士の設計により、昭和40年に開館。(平成28年8月1日国有形登録文化財登録)

時 9:00~17:00
休 4~10月 休館日なし 11~3月 毎週水曜日(祝日の場合は翌日)
料 大人400円 高校生200円 小中学生100円
※団体割引は20名より適用・入館料免除制度あり
電 0258-78-2370 駐 あり



6 良寛と夕日の丘公園

良寛記念館の並びにあり、「にいがた景勝百選の一位」に選定された公園。良寛像と詩歌碑がある。



17 光照寺

良寛が得度して僧になった曹洞宗の寺。

19 道の駅 越後出雲崎 天領の里

出雲崎を再現した時代館や石油記念館、レストラン、物産館、夕凧の橋(海上橋)がある道の駅。海を眺める栄蔵の像がある。



1 良寛の里案内パーク 出雲崎

出雲崎町の良寛の史跡を案内する立ち寄りスポット。良寛の詩碑や東屋がある。

7 石井神社

良寛の生家橋屋山本家が神官を務めた神社。大國主命を祀る。毎年6月17日に「出雲崎大祭」が行われる。



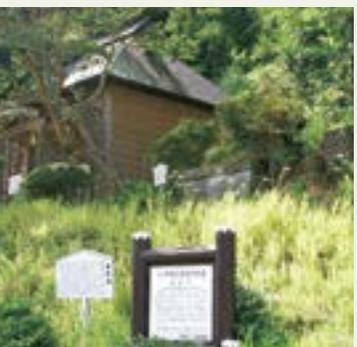
3 良寛の古道

良寛記念館の近くから西照坊に通ずる山道。春先には可憐な山野草が咲く。



18 芭蕉園(敦賀屋跡)

名主・橋屋と対立した町年寄・敦賀屋の跡地は芭蕉園となっており、松尾芭蕉真筆の「銀河の序」碑がある。



2 西照坊

良寛が帰郷後に幾度かここに仮住まいしたという小さなお堂。良寛の歌碑がある。



21 獄門跡

犯罪人の極刑も執行された処刑場跡。榎の老木が当時を偲ばせる。



23 双善寺

良寛の詩を高く評価した大忍魯仙が出家した曹洞宗の寺。良寛の詩碑がある。

22 蛇崩れの丘(旅立ちの丘)

良寛が出雲崎を旅立つ時、ここで家族、友人に別れを告げたという。良寛の詩碑がある。



4 浄玄寺

良寛の末の妹みかが嫁いだ浄土真宗の寺。当時は海沿いにあったが、平成26年に現在地に移転。良寛の書簡の碑がある。

20 代官所跡

江戸時代天領となった出雲崎には代官所が置かれた。何回か移転したが、ここが最後の代官所であった。

10 ちきりや跡、 12 木戸跡、 16 良寛逸話館、 24 赤坂山公園、 25 剣が峰 →次頁の地図に説明文あり



よしみちおすすめスポット



道の駅
越後出雲崎
天領の里
☎0258-78-4000

■施設概要
・天領出雲崎時代館
・出雲崎石油記念館
・物産館
・レストラン「陣や」

■営業時間
時代館・石油記念館 9:00~17:00
物産館 9:00~17:00(冬期間時間変更あり)
レストラン11:00~17:00(夏期時間延長あり)

■休館日：第1水曜日(5月・8月無休)
及び年末年始

■入館料：大人(高校生以上)500円
子供(小・中学生)400円
※団体割引20名より適用。

■駐車場：あり



ホット情報館
陽だまり
☎0258-94-5147

出雲崎町の歴史、文化、観光案内と、お茶で一休み、お気軽にどうぞ。

■営業時間：8:30~18:00
■休館日：12月29日~1月3日

炭火でじっくりとあぶった浜焼きは、イカ、魚、貝など種類もいろいろ

良寛が愛好した押し菓子。その他、良寛せんべいや月のうさぎなど良寛由来の銘菓がいっぱい。

■タクシーのことなら
出雲崎交通
☎0258-78-2244

■観光宿泊のことなら
出雲崎町観光協会
☎0258-78-2291
FAX/0258-41-7322

■バスのことなら
北越後観光バス出雲崎案内所
☎0258-78-2032

■出雲崎町役場
〒949-4392
三島郡出雲崎町大字川西140
☎0258-78-3111
FAX/0258-78-4483

出雲崎地域

- | | | | |
|----------------|---------------|-------------------|----------|
| 1 良寛の里案内パーク出雲崎 | 9 良寛堂から眺める佐渡 | 17 光照寺 | 23 双善寺 |
| 2 西照坊 | 10 ちきりや跡 | 18 大黒屋 | 24 赤坂山公園 |
| 3 良寛の古道 | 11 円明院 | 19 道の駅 越後出雲崎 天領の里 | 25 剣が峰 |
| 4 浄玄寺 | 12 木戸跡 | 20 代官所跡 | |
| 5 良寛記念館 | 13 芭蕉園(敦賀屋跡) | 21 獄門跡 | |
| 6 良寛と夕日の丘公園 | 14 北国街道妻入りの街並 | 22 蛇崩れの丘(旅立ちの丘) | |
| 7 石井神社 | 15 北国街道妻入り会館 | | |
| 8 良寛堂 | 16 良寛逸話館 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

10 ちきりや跡
良寛生家の近隣に妓楼があった。妓楼の主人は俳句もよむ風流人で良寛の父・以南とも交流があった。

16 良寛逸話館 ☎0258-78-2564
コーヒーを飲みながら、ゆったりと良寛にまつわる話が聞ける。(開館日は要確認)

24 赤坂山公園
昔、赤坂山は出雲崎から与板りに抜ける貴重な道であった。良寛歌碑がある。

25 剣が峰
出雲崎と三島の境界の尾根。杉林の中に幾つかの石塔があり、道端にはお地藏様がある。良寛の頃にはよく利用された峠道。

仮住まいの地

土地の名が示すとおり由緒ある寺が多い寺泊。奈良の高僧行基ぎょうきが開いたと言われる西生寺さいしゅうじをはじめとした古刹や良寛ゆかりの史跡が点在している。



諸国放浪を終えた良寛が最後に戻った最初の宿「郷本空庵きょうほんくわん」や、少年時代学んだ塾・三峰館の師・大森子陽おほもりしやうを偲ぶ「弔子陽先生墓」の詩碑など、寺泊には良寛ゆかりの史跡が数多く残されている。破れ板に囲まれた粗末な「郷本空庵」で半年ほど暮らしたのち、各地を転々とした。四十五歳の頃再び寺泊の照明寺境内の「密蔵院みつぞういん」に仮住まいした良寛。妹むらの嫁ぎ先からも近い密蔵院での暮らしが気に入ったとみえ、生涯に三度ほどここで暮らした。詩作にふけり人に乞われるままに自由で滋味あふれる書を残したこの地には、身分や職業を超越し人々と交流した良寛らしいエピソードが数多く残っている。

③① 照明寺 密蔵院

真言宗照明寺の境内には、簡素至極な風情をたたえる密蔵院がある。良寛は生涯のうち3度仮住まいした。良寛の詩歌碑と像がある。



③② 照明寺から望む日本海

よく晴れた日の日本海はとても爽やかであり、その潮風は良寛が仮住まいした時代と同様に心地よい。



③③ ウォーキングロード

全長4.3kmのウォーキングロードは徒歩で一周約80分。コースの近くに聚感園や良寛ゆかりの照明寺密蔵院などがある。



③④ 聚感園

菊屋五十嵐家の邸宅跡。鮮やかな緑と石の調和が見事な園内で散策が楽しめる。



③⑤ 魚の市場通り

県内外の観光客で連日にぎわう人気の観光スポット。新鮮で安い魚介類などが並ぶ。



③⑥ 郷本空庵跡

円通寺から故郷に戻った良寛の最初の仮住まいがあった場所。曹洞宗玄徳寺の境内に良寛空庵跡碑と詩碑がある。



③⑤ 夏戸の本光寺

浄土真宗の寺。胃腸薬金証丸の製造販売をしていた。晩年の良寛もこの薬を服用していた。良寛の歌碑がある。



③⑦ 西生寺

日本最古の弘智法印の即身仏で知られる真言宗の古刹。一時期良寛が仮住まいした。弘智法印即身仏のご開帳は拝観料が必要。



③⑦ 野積の太子岩(立岩)

かつては海中にあったといわれる巨岩。太子岩の前には良寛の歌碑がある。



③④ 大森子陽の墓

大森子陽は良寛が少年時代に学んだ三峰館の師。寺泊当新田に墓がある。良寛の詩碑がある。



③⑥ 良寛の妹むらの墓(法福寺)

寺泊に嫁いだ妹のむらは良寛が五合庵などに住んでいた頃、身の周りの世話をした。日蓮宗法福寺に墓がある。



よりみちおすすめスポット

寺泊水族博物館
☎0258-75-4936

■開館時間：9:00～17:00
(入館 16:30 まで)
■休館日：不定休
(水族館HPにて確認または事前問合せ)
■入館料：大人(高校生以上) 700円
中学生 450円
小学生 350円
幼児(3才以上) 200円
※団体料金は20名より適用。
※障害者割引・料金免除者制度あり
■駐車場：あり

魚の市場通り
☎0258-75-3363
(寺泊観光協会)

■営業時間：8:30～17:00
(日曜は8:00～)
■駐車場：あり(大型バス30台、普通車800台)

味わう
濱の番小屋で漁師たちが食べていた番屋鍋をアレンジ。旬の野菜と魚介を味噌仕立てでいただく具だくさん汁。
甘さを押さえ、隠し味に磯の香りをきかせた隠れた銘菓。

- #### 寺泊地域
- 26 西生寺
 - 27 野積の太子岩(立岩)
 - 28 魚の市場通り
 - 29 ウォーキングロード
 - 30 良寛の妹むらの墓(法福寺)
 - 31 照明寺 密蔵院
 - 32 照明寺から望む日本海
 - 33 聚感園
 - 34 大森子陽の墓
 - 35 夏戸の本光寺
 - 36 郷本空庵跡

- タクシーのことなら
寺泊交通 ☎0258-75-3121
大河津タクシー ☎0256-97-2079
- 観光のことなら
寺泊観光協会 ☎0258-75-3363
- バスのことなら
越後交通寺泊バスセンター ☎0258-75-3141
長岡市役所 寺泊支所(産業建設課) 〒940-2592
長岡市寺泊烏帽子平1977-8 ☎0258-75-3105
FAX/0258-75-2238

分水
(燕市)

定住の地

見渡す限り広がる新潟平野を洪水から守り、人々に恵みをもたらす「大河津分水」で有名なこの町は、良寛が修行し、その芸術(詩歌・書等)が円熟を迎えた地でもある。



厳しい修行と諸国行脚の末、導かれるように国上山の中腹にある五合庵に移り住んだ良寛。森の中にある極めて簡素な草庵で二十年ほどの時を過ごした後、文化十三年(八六)良寛五十九歳のとき、乙子神社草庵に移り住んだ。理由は五合庵への山坂の上り下りが老身にこたえるようになったためと言われている。

托鉢修行で生活の糧を得て、自然や子供たちを愛し、人の心に寄り添う慎ましやかな暮らしの中で磨かれた感性は数々の詩歌や書を生み、その芸術性はこの時期、円熟期を迎える。限りなくおろからで深い人間愛に溢れる良寛芸術。その神髄は数々の詩歌や書に見ることができる。

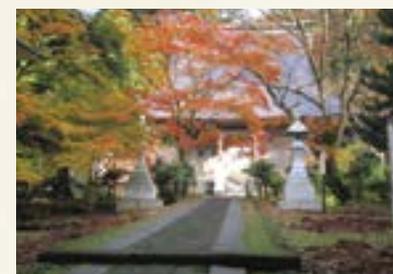
38 五合庵

詩的風景が広がる山の中に静寂に包まれ佇む庵。良寛が40歳頃から定住し、20年ほどをここで過ごした。良寛句碑や萬元上人の墓がある。

50 燕市分水良寛史料館

五合庵、乙子神社草庵時代の遺墨や遺品をはじめ、様々な関連資料を展示。庭に良寛の像や歌碑などもある。

時 9:00~16:30 休 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
料 大人300円、学生200円、小中学生100円 ※団体割引あり
電 0256-97-2428 註 あり



37 国上寺

開山1300年の越後最古の真言宗の名刹。酒吞童子や源義経・弁慶伝説も残る。良寛ゆかりの五合庵はこの寺の敷地内にある。良寛歌碑と良寛像がある。



41 朝日山展望台と千眼堂吊り橋

展望台から大河津分水と新潟平野、遠くは越後三山を見渡すことができる。公園の内外に良寛歌碑群と良寛像がある。朝日山展望台と五合庵を結ぶ千眼堂吊り橋もある。



39 本覚院と月見坂

本覚院は良寛が五合庵に定住する前、仮住まいした真言宗の寺である。良寛の詩歌碑がある。



40 乙子神社草庵

良寛59歳の時、五合庵から移り住んだ。ここでの10年が良寛芸術の円熟期とされる。最古の良寛の詩歌碑がある。



49 大蓮寺

良寛が托鉢の行き帰りによく立ち寄って親しくしていた浄土真宗の寺。住職の奥様から贈られたきれいな毬3箇を良寛は大切に使用した。良寛詩碑がある。



63 願王閣

大庄屋富取家が建立し、寄進した。良寛の弟子遍澄が4代目の住職を務めた。遍澄の歌碑がある。



43 夕ぐれの間

ことに夕映えが美しいことから名づけられた。托鉢を終えた良寛が夕暮れにこの地で一息ついて五合庵への山道を登って行った。萬元上人の歌碑がある。



52 中村家

地蔵堂の町年寄で酒造業を営む。良寛の父以南の実家新木家と親戚。良寛が三峰館(大森子陽塾)に通っていた時、寄宿していた。個人宅。



54 心月輪の碑

ゆかりの解良家で良寛が鍋ぶたに書いた「心月輪」の書は、良寛の書の中でも美しくのびのびとした書として評価が高い。



46 原田鶴斎旧宅跡

原田鶴斎、正貞親子とも医を業としながら詩文の才があり、良寛と親交があった。良寛歌碑がある。



47 解良家

村上藩の庄屋役を務めた解良叔間は良寛と親交があった。良寛庇護者の一人。良寛はたびたび解良家を訪問した。解良栄重は「良寛禪師奇話」を書き残した。門前に良寛の句碑がある。個人宅。



48 観照寺

良寛が53歳の頃に一時仮住まいした真言宗の寺。現在は寺の建物はなく、解良栄重ほか解良一門の墓所がある。



45 阿部家

渡部の庄屋で酒造業も営む。阿部定珍と酒を酌み交わしながら歌を詠み合うなど親交があった。良寛庇護者の一人。門前に良寛の詩碑がある。個人宅。

44 菅原神社

阿部家の近くの小高い岡の上にある神社。良寛もよく参拝した。良寛の歌碑がある。

51 本町通り歌碑群

主に良寛の歌集「ふるさと」から抜粋した歌の歌碑が地蔵堂本町の商店街に多数ある。

42 道の駅 国上

山側の公園に良寛像がある。ドライブの疲れを癒やす無料休憩所や源泉100%の足湯「酒吞童子の湯」(無料)、食事処や売店、地元野菜の直売所など家族で楽しめる。日帰り温泉施設「てまりの湯」も併設。



大河津分水に関する歴史や様々な資料を展示。防災の大切さを体感できる体験コーナーもある。

☎0256-97-2195
 ■開館時間：9:00~16:00
 ■休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
 年末年始
 ■入館料：無料

- ### 分水地域
- 37 国上寺
 - 38 五合庵
 - 39 本覚院と月見坂
 - 40 乙子神社草庵
 - 41 朝日山展望台と千眼堂吊り橋
 - 42 道の駅国上
 - 43 タぐれの岡
 - 44 菅原神社
 - 45 阿部家
 - 46 原田鶴斎旧宅跡
 - 47 解良家
 - 48 観照寺
 - 49 大蓮寺
 - 50 燕市分水良寛史料館
 - 51 本町通り歌碑群
 - 52 中村家
 - 53 願王閣
 - 54 心月輪の碑

■タクシーのことなら
地蔵堂タクシー
 ☎0256-97-2116

■観光のことなら
燕市観光協会
 ☎0256-64-7630

■バスのことなら
越後交通三条営業所
 ☎0256-38-2215

■燕市役所(商工振興課)
 〒959-0295
 燕市吉田西太田 1934
 ☎0256-92-1111
 FAX/0256-92-2112

よりみちおすすめスポット



道の駅 国上
 ☎0256-98-0770

■施設概要：ふれあいパークく賀美
 国上健康の森公園
 足湯「酒呑童子の湯」

■営業時間：9:00~17:00
 ※食事提供は11:00~16:30(平日は15:30まで)

■休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
 及び年末年始

■駐車場：あり



てまりの湯
 ☎0256-97-1755

■営業時間：10:00~21:00
 (入館受付は閉館30分前まで)

■休館日：毎月第2・第4月曜日
 (祝日の場合は翌日)

■入館料
 ・10:00~17:00
 大人500円・小中学生300円
 ・17:00~21:00
 大人300円・小中学生100円
 ※バスタオルは別途50円

■駐車場：あり

味わう

中は甘く外はしょっぱい、しょうゆ味のおこわに餡入り団子を入れたこの地域の名物。

進化を続けるご当地グルメとして有名。燕三条背脂こってりスープに極太麺が特徴。

父の生誕地

父が生まれ弟が世間を憚りながら暮らした与板へと、何度も足を運び歌を詠んだ。豪商三輪家(大坂屋)、山田家(和泉屋)との親交も深く所縁の史跡が残る。



良寛の父・以南は城下町与板の割元庄屋新木家の出身で縁者も多く、そのため良寛も幼い頃からこの地に度々通った。豪商として知られる三輪家の左とは歌や学問を通じて親交を結び、その思い出を伝える歌碑も「楽山苑」に残る。また、良寛の生家・山本家が没落し名主であった弟・由之が全てを喪い松下庵に隠栖するようになると、良寛が身を寄せていた和島の木村家から険しい「塩之入峠」を越えて度々会いに訪れたという。貞心尼とともに晩年の心の支えともいえる弟との対面を妨げる峠のちに改修された時、良寛は長歌にも「夢のようだ」と素直なその気持ちを詠み喜んだ。

67 三輪家別荘 楽山苑

江戸時代、信濃川の河川交易で財をなした大坂屋・三輪家の別荘。三輪左一は良寛の胸中を最もよく理解した友人である。良寛の詩歌碑がある。

時 9:00~21:00
休 年末年始(12月28日~1月3日)
料 無料 施設(楽山亭、積翠庵)を利用する場合は有料・要予約
電 0258-72-3201
(長岡市役所与板支所産業建設課)
FAX 0258-72-3341 註あり



59 徳昌寺

曹洞宗の寺。良寛の父の生家新木家や三輪家の菩提寺。住職の大機和尚は良寛とも親しく、良寛の葬儀の際、導師を務めた。維馨尼や三輪左一の墓、良寛詩碑がある。



68 まちの駅 よいた

与板の情報発信交流施設。観光案内をしてくれるガイドの受付、「越後与板打刃物」などの与板地域の各種特産物の展示を行っている。

電 FAX 0258-72-4161 時 10:00~16:00
休 毎週月曜日(祝日は営業) / 冬期間休業



69 維馨尼桜

徳昌寺の維馨尼の墓碑の近くに維馨尼桜と呼ばれる美しい枝垂れ桜がある。



68 兼続お船ミュージアム(与板歴史民俗資料館)

直江兼続とその妻お船のふるさと与板ならではの資料が展示されている歴史民俗資料館。良寛の遺墨も展示されている。

時 9:00~17:00 休 年末年始(12月28日~1月4日)
料 大人300円、小中学生150円 電 0258-72-2021 註あり



67 新木家跡

与板の割元庄屋であり、良寛の父・以南の生家跡。以南の句碑もある。



60 弟由之隠栖遺跡

父の後を継いで名主になった弟・由之は所払いになり晩年は与板に隠栖した。一時この場所(扇屋中川家跡)に伏屋を建てて住んだ。



61 明元寺

浄土真宗の寺。墓地に「一蓮塔」が刻まれている墓石がある。扇屋中川家の菩提寺でもある。



62 蓮正寺

浄土真宗の寺。父・以南の妹の嫁ぎ先であり、良寛もしばしば訪れた。境内に、「自然」、「法爾」が刻まれている墓石がそれぞれある。



65 都野神社

与板の総鎮守として古くから信仰される神社。良寛の詩碑がある。



64 良寛詩歌碑公園 「いしぶみの里」

良寛にまつわる詩歌碑が十数基も点在する旧黒川沿いの河川緑地公園。良寛と与板の人と土地の深い交流が垣間見える。



69 新黒川水門良寛詩碑

新黒川水門に良寛詩碑がある。眼前には信濃川と弥彦山が望める。



71 塩之入峠と旧道

島崎と与板の間にある峠の旧道。島崎の良寛と与板に住む弟の由之は急な坂のこの峠を歩いて行き来した。良寛歌碑がある。

70 大坂塔婆

石で作った道しるべが建っている。良寛も与板から出雲崎へ向かうときに通ったと言われている。

66 与板十五夜まつり

毎年9月の十五夜の時期に行われる都野神社の秋季大祭。江戸時代から続く登り屋台が奉納される。良寛も楽しんだ祭り。

65 大坂屋河渡・和泉屋河渡

越後屈指の大豪商大坂屋三輪家と豪商和泉屋山田家が船運業で利用した河渡跡。

66 和泉屋山田家跡

和泉屋山田家の9代太郎兵衛重輪(号は杜草)は良寛と親交があった。蓮正寺に山田杜草の墓がある。



- ### 与板地域
- 55 都野神社
 - 56 与板十五夜まつり
 - 57 新木家跡
 - 58 徳昌寺
 - 59 維馨尼桜
 - 60 弟由之隠栖遺跡
 - 61 明元寺
 - 62 蓮正寺
 - 63 兼統お船ミュージアム
(与板歴史民俗資料館)
 - 64 良寛詩歌碑公園「いしぶみの里」
 - 65 大坂屋河渡・和泉屋河渡
 - 66 和泉屋山田家跡
 - 67 大坂屋三輪家別荘 楽山苑
 - 68 まちの駅 よいた
 - 69 新黒川水門良寛詩碑
 - 70 大坂塔婆
 - 71 塩之入峠と旧道

■観光のことなら
与板観光協会
(長岡市役所与板支所産業建設課内)
☎0258-72-3201

■バスのことなら
越後交通寺泊バスセンター
☎0258-75-3141

■長岡市役所 与板支所
〒940-2492
長岡市与板町与板甲134
☎0258-72-3100
FAX/0258-72-3341

よりみちおすすめスポット



■営業時間: 9:00~17:00
■休館日: 年末年始(12/28~翌年1/4)
■入館料: 大人300円・小中学生150円
※就学前の幼児は無料、団体料金は10名より適用※入館料免除制度あり
■駐車場: あり



■営業時間: (3月~12月)9:00~19:00
(1月~2月)9:00~17:00
■休館日: 毎週月曜及び年末年始
(12/28~翌年1/2)
(月曜日が祝日の場合は営業)
■入館料: 高校生以上500円
小中学生200円
●4月~12月の夜間(17:00以降)
高校生以上300円
小中学生100円
■駐車場: あり

良寛
いづわめし

良寛さんにまつわる逸話の食材を集めた精進弁当で、製塩「越乃塩」も使う。

大判焼

与板の大判焼はその大きさが有名。厚さ5cmでボリューム満点。(夏期休業)

遷化の地

法弟の遍澄や島崎村(現長岡市)の木村元右衛門の勧めで移り住んだこの地で良寛は貞心尼や多くの村人と出会い、心穏やかな晩年を送る。



六十九歳になった良寛は厳しい暮らしや老齢を心配した周囲の人の勧めにより、十年ほど暮らした乙子神社草庵から木村家離れの庵室に移った。終の住処となったこの地で、良寛は貞心尼と出逢う。時に良寛七十歳、貞心尼三十歳。手まり遊びにたとえた和歌を詠みかわしたのを機に始まった二人の清らかな師弟愛は良寛が七十四歳で遷化するまで続いた。足掛け六年間続いた心安らかな交友の様子は、そのとき交わした相聞歌、歌集「はちすの露」に垣間見ることが出来る。和島にはこの清らかな師弟愛にちなんで「はちすば通り」と名付けられた通りがあり、良寛が晩年を過ごした庵跡や墓など十数カ所の史跡が点在する。

80 隆泉寺・良寛墓碑

浄土真宗の寺で木村家の菩提寺。良寛と弟・由之の墓が並ぶ。大蔵経碑と良寛像がある。



77 桑原家

良寛と親交があった桑原家は医を業としていた。個人宅。

74 遍澄法師生家跡

16歳の時、良寛の弟子となった遍澄法師の生家跡。

74 島崎橋良寛歌碑

水上交通が盛んだった島崎川にかかる島崎橋があり、脇に良寛歌碑がある。

76 床屋長蔵

豆腐屋九之助は良寛と親交があった。



78 桐原石部神社

良寛が晩年、咲き誇る藤の花を詠んだ歌碑がある。

83 はちすば通り

良寛と貞心尼が清らかな師弟愛で唱和した歌を集めた「はちすの露」にちなんで名付けられた通り。はちすば通りには庵室跡や墓など多数の史跡が点在する。



79 木村家・庵室跡

良寛は69歳のとき、乙子神社草庵から木村家の庵室に移住し、晩年を過ごした。貞心尼とはここで出逢い、初期は弟由之や、遍澄、貞心尼らに看取られ74歳の生涯を閉じる。良寛禅師庵室跡碑がある。個人宅。



84 良寛の里美術館

良寛と愛弟子・貞心尼の詩歌の書を中心に、ゆかりの文人墨客の作品を含めて展示。隣接する茶室の「指月亭」までの回廊は四季折々の美しい風景が楽しめる。館内に良寛と貞心尼の像がある。

時 9:00~17:00 休 年末年始 料 大人500円、小中学生300円 電 0258-74-3700 駐 あり

88 椿の森(熊野神社)

籠田にある熊野神社には、美しい椿が群生している「椿の森」がある。そばを流れる川は水上運送の発着点であった。良寛の歌碑がある。



82 妙徳寺

和銅年間開基の真言宗の古刹。良寛の法弟遍澄法師の墓がある。7月1日の灸点(お灸)で有名。

87 池浦酒造

江戸時代からの酒蔵。良寛の書「天上大風」と「心月輪」を酒銘にして販売している。

86 もてなし家と道の駅 良寛の里わしま

築180年の古民家を移築した地域交流センター。郷土料理が楽しめる食事処、地元物産コーナーがある。道の駅良寛の里わしまが隣接。

72 山田家の桜

良寛は塩之入峠の行き帰りに幾度となく山田家に立ち寄るなど、親交があった。庭には枝垂れ桜の老木がある。個人宅。

85 和らぎ家周辺歌碑群

周辺には良寛像と歌碑が多数点在している。地元特産のガンジーミルクを使用したスイーツが味わえる喫茶コーナーがある。





ヨネックス
カントリークラブ



- 和島地域**
- | | |
|-------------|----------------------|
| 72 山田家の桜 | 81 宇奈具志神社 |
| 73 桐原石部神社 | 82 妙徳寺 |
| 74 島崎橋良寛歌碑 | 83 はちすば通り |
| 75 床屋長蔵 | 84 良寛の里美術館 |
| 76 豆腐屋九之助 | 85 和らぎ家周辺歌碑群 |
| 77 桑原家 | 86 もてなし家と道の駅 良寛の里わしま |
| 78 遍澄法師生家跡 | 87 池浦酒造 |
| 79 木村家・庵室跡 | 88 椿の森（熊野神社） |
| 80 隆泉寺・良寛墓碑 | |

よしみちおすすめスポット

道の駅
良寛の里わしま
地域交流センター
もてなし家
☎0258-41-8110

■営業時間：9:00～17:00(季節により変動あり)
■食事処：10:00～15:00
■休館日：第1月曜日及び年末年始※5月・8月は無休
■駐車場：あり

お休み処
和らぎ家
☎0258-41-8900

■営業時間：9:00～16:30
■休館日：毎週火曜日及び年末年始
■駐車場：あり

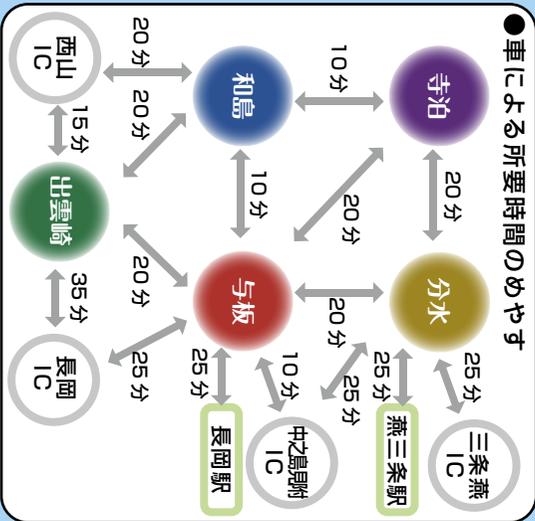
味わう 地酒 安岡正篤翁が名付けた「和楽五尊」の蔵元や「夏子の酒」のモデルとなった蔵元などで有名。
ガンジー スイーツ 新潟県では和島地域だけで飼育されているガンジースイーツ 牛の「ゴールドンミルク」を使った大人気スイーツ。

■観光のことなら
和島観光協会
(長岡市役所和島支所産業建設課内)
☎0258-74-3114

■バスのことなら
越後交通寺泊バスセンター
☎0258-75-3141

■長岡市役所 和島支所(産業建設課)
〒949-4511
長岡市小島谷 3434-4
☎0258-74-3114
FAX/0258-74-3500

良寛たずね道案内マップ



お車でお越しの方は
色の道の利用が比較的便利です。

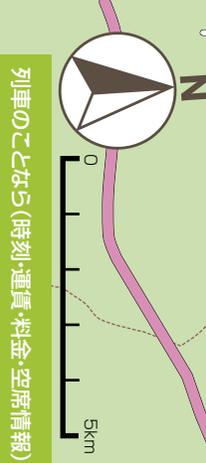
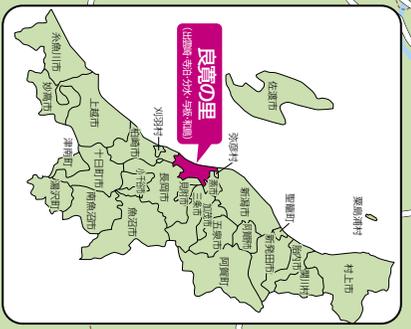


JR 三條駅周辺からなら

- タクシーのことなら
中央タクシー ☎0120-623767
燕タクシー ☎0120-626102
中越交通 ☎0120-881455
日の丸観光タクシー ☎0120-848490
- バスのことなら
越後交通三條営業所 ☎0256-38-2215
観光のことなら
燕市観光協会 ☎0256-64-7630

JR 長岡駅周辺からなら

- タクシーのことなら
旭タクシー ☎0258-27-5050
カンコータクシー ☎0258-35-0035
相互タクシー ☎0258-34-2525
第一タクシー ☎0258-32-2230
中越交通 ☎0258-35-1239
つばめタクシー ☎0258-35-0226
長岡タクシー ☎0258-35-1717
三越タクシー ☎0258-35-6161
- バスのことなら
越後交通本社営業所 ☎0258-27-1060
観光のことなら
長岡観光コンベンション協会 ☎0258-32-1187
長岡観光案内所 ☎0258-36-3520



列車のことなら(時刻・運賃・料金・空席情報) **JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600**

良寛さんはこんな人

(ふるさとに残る逸話より)

良寛が今もなお、ふるさとの人々に愛されているのはなぜだろう。その人柄を示す逸話が語り継がれているからでしょうか。



出雲崎

◆本の虫良寛の少年時代

少年時代の良寛(采蔵)は、読書が大好きだった。
ある年のお盆の夕方のこと。毎晩、本を読んでばかりいる采蔵を心配して、母親が声をかけた。「たまには外に出て盆踊りでも見てきてはどうですか」
その声におされるように采蔵は部屋を出た。
しばらくして、母親は庭の石灯籠の陰に怪しい人影を見つけた。すわ泥棒かと薙刀を構えて近づくと、それは石灯籠の灯りを頼りにして、論語を一心に読む采蔵の姿であった。

寺泊

◆無欲な良寛のこころ

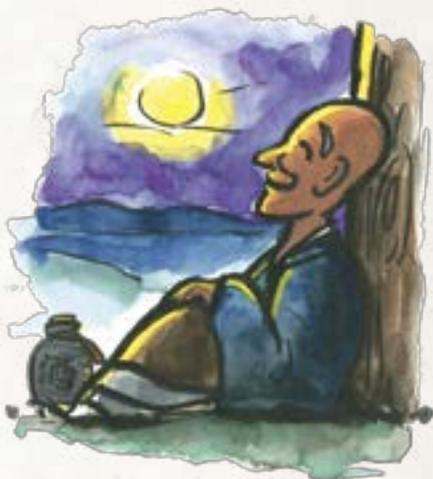
越後に帰郷したばかりの良寛は、寺泊の郷本の空庵を借りて住んでいた。
ある時、浜辺の塩焚き小屋が火事になり、犯人と疑われた良寛は、村民に生き埋めにされそうになった。
そこへ通りかかった夏戸の医者小越仲民のとりなしで、良寛は命を救われた。良寛を連れ帰った仲民は、生き埋めにされそうになっても恬淡としている良寛に「なぜ、なされるがままに黙っているのか」と問うた。
良寛は「どうしよば、皆がそう思いこんだのだからそれでいいではないか」と答えた。



分水

◆良寛月見の松

江戸の儒者亀田鵬齋が文化6年から3年ほど越後を訪れたときのこと。
ある秋の晴れた日、鵬齋が良寛のいる五合庵を訪ね、良寛は鵬齋の好物である酒を買いに出た。
ところが、いくら待っても帰ってこない。鵬齋が山路を下り迎えに出たところ、五合庵のすぐ近くにある松の根元に良寛が腰をおろして、こうこうと照る月を眺めているではないか。
「良寛さん、酒は・・・」と声をかけると、「月があまりにもきれいなので見とれていたところだよ」と言い、あわてて酒を買いに行った。



与板

◆ほたるの良寛

父・以南の生家がある与板の和泉屋山田家の主人杜臯とは趣味の俳句等を通して親交があり、良寛は時々山田家に通っていた。
家人には気の許せる『およし』という女性(一説には杜臯の妻)がおり、夕方になると決まって訪ねてくるので、良寛を『ほたる』だと冗談を言いながら酒を振る舞った。
良寛はそのおよしを妹のように可愛がっていたと伝えられる。良寛に次の歌がある。
寒くなりぬ 今は蛩も 光なし
黄金の水を 誰か賜わむ
草むらの 蛩とならば 宵々に
黄金の水を 妹たまふてよ

およし宛書簡三種には互いを気使う、ほのぼのとした逸話として伝わっている。



和島

◆貞心尼との出逢い

貞心尼が良寛と初めて逢うことができた秋の日、二人は夜を徹して語り明かした。
世が更けたので良寛はこう歌った。
白妙の衣手寒し秋の夜の
月半空に澄み渡るかも
(袖のあたりが寒くなり、秋の夜も更けてきた、月が空の中ほど上り、澄み渡っている)
それに対して、貞心尼はまだ話したい気がして、こう歌って答えた。
向かひめて 千代も八千代も 見てしがな
空行く月のこと問はずとも
(向かい合って、このままずっと良寛さまのお顔を見ていたいです。空を行く月のことなど気にしなくてもよいではないですか)



良寛88ヶ所巡りチェックリスト

回った箇所をチェックするなどして、ご利用ください。

出雲崎	①	良寛の里案内パーク出雲崎	⑩	ちきりや跡	⑱	だいこくや 大黒屋
	②	さいしやうほう 西照坊	⑪	えんみょういん 円明院	⑲	道の駅 越後出雲崎 天領の里
	③	良寛の古道	⑫	木戸跡	⑳	代官所跡
	④	じよげんじ 浄玄寺	⑬	ばしやうえん つるがや 芭蕉園(敦賀屋跡)	㉑	ごくもんあと 獄門跡
	⑤	良寛記念館	⑭	ほっこくかいどうつまい 北国街道妻入りの街並	㉒	蛇崩れの丘(旅立ちの丘)
	⑥	良寛と夕日の丘公園	⑮	北国街道妻入り会館	㉓	そうぜんじ 双善寺
	⑦	石井神社	⑯	良寛逸話館	㉔	赤坂山公園
	⑧	良寛堂	⑰	こうしょうじ 光照寺	㉕	剣が峰
	⑨	良寛堂から眺める佐渡				

寺泊	㉖	さいしやうじ 西生寺	㉓〇	ほうふくじ 良寛の妹むらの墓(法福寺)	㉔4	おおもりしやう 大森子陽の墓
	㉗	のつみ たいしいわ たていわ 野積の太子岩(立岩)	㉔1	しやうみょうじ みつぞういん 照明寺 密蔵院	㉔5	なつど ほんこうじ 夏戸の本光寺
	㉘	魚の市場通り	㉔2	照明寺から望む日本海	㉔6	ごうとくあんあと 郷本空庵跡
	㉙	ウォーキングロード	㉔3	しゅうかんえん 聚感園		

分水	㉔7	こくしやうじ 国上寺	㉔3	タぐれの岡	㉔9	だいれんじ 大蓮寺
	㉔8	ごごうあん 五合庵	㉔4	すわら 菅原神社	㉔0	つばし ぶんすい 燕市分水良寛史料館
	㉔9	ほんがくいん つきみさか 本覚院と月見坂	㉔5	阿部家	㉔1	本町通り歌碑群
	㉔0	おとこ 乙子神社草庵	㉔6	しやくさい 原田鶴斎日宅跡	㉔2	中村家
	㉔1	せんがんだう 朝日山展望台と千眼堂吊り橋	㉔7	けら 解良家	㉔3	がんのうかく 願王閣
	㉔2	くがみ 道の駅 国上	㉔8	かんしやうじ 観照寺	㉔4	しんげつりん 心月輪の碑

与板	㉔5	つの 都野神社	㉔1	みょうがんじ 明元寺	㉔7	みわ さんくざんえん 三輪家別荘 桑山苑
	㉔6	よいいたじゆうご や 与板十五夜まつり(開催日限定)	㉔2	れんしやうじ 蓮正寺	㉔8	まちの駅 よいた
	㉔7	あらき 新木家跡	㉔3	かづく せん 兼統お船ミュージアム(与板歴史民俗資料館)	㉔9	新黒川水門良寛詩碑
	㉔8	とくしやうじ 徳昌寺	㉔4	良寛詩歌碑公園「いしづみの里」	㉔0	おおさかどうば 大坂塔婆
	㉔9	いしづみにざくら 維馨尼桜	㉔5	こうど 大坂屋河渡・和泉屋河渡	㉔1	しおのいりとうげ 塩之入峠と旧道
	㉔0	ゆうしんせいせいせき 弟由之隠栖遺跡	㉔6	いずみや 和泉屋山田家跡		

和島	㉔2	山田家の桜	㉔8	へんちやうほうし 遍澄法師生家跡	㉔4	良寛の里美術館
	㉔3	きりはらいそべ 桐原石部神社	㉔9	木村家・庵室跡	㉔5	やわや 和らぎ家周辺歌碑群
	㉔4	島崎橋良寛歌碑	㉔0	りゅうせんじ 隆泉寺・良寛墓碑	㉔6	もてなし家と道の駅 良寛の里わしま
	㉔5	ちよせう 床屋長蔵	㉔1	うなぐし 宇奈具志神社	㉔7	池浦酒造
	㉔6	くのすけ 豆腐屋九之助	㉔2	みょうとくじ 妙徳寺	㉔8	椿の森(熊野神社)
	㉔7	桑原家	㉔3	はちすば通り		

1日で5地域を巡るときのおすすめは、**5・8・17・38・40・50・58・79・80・84**

2日で5地域を巡るときのおすすめは、上記の10箇所 + **2・11・31・36・37・52・55・57・67・81**

※ は山道を歩くので、トレッキングシューズなどの装備が必要です。 ※ は買い物ができます。

詳しくは、新潟県ホームページをご覧ください。

良寛たずね道 八十八ヶ所巡り

検索